

特集

恋しきを活用した賑わいづくり事業 2,846万円



今年4月にオープンした料亭「そ 恋しき」。地元食材の魅力発信を目的とした料亭再開実現のため、恋しきの主屋と離れ（桐、さつきの間）の老朽化による破損箇所の修復と、安全性確保の改修を行いました。また、G7サミットでも採用された地元食材を用いた料理の提供により、食材のブランド力向上を図り、海外有名シェフの招へいによるメディア露出機会の増加など、認知度向上・賑わい創出につながりました。

安全・安心が持続するまち

04

省エネ家電買替支援事業 4,508万円

エアコン、冷蔵庫を省エネ性能の高いものに市内店舗で買い替え設置した場合の費用の一部を補助しました。令和5年度に顕著となった原油価格・物価高騰による家計負担の軽減を図るとともに、カーボンニュートラル（脱炭素）の推進につながりました。



電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援事業 5億7,927万円

家計への影響が大きい住民税非課税世帯等および住民税均等割のみ課税世帯に対して給付金を給付し、生活・暮らしの支援を行いました。

05 ICT都市ふちゅうの実現

地理情報システム（GIS）整備事業 6,540万円

GISを導入して「備後府中マップ」を作成。市の防災、道路や都市計画などの行政情報と地図を重ね合わせた情報を、パソコンやスマートフォンなどから閲覧・検索可能になりました。



町内会アプリ「結ネット」の導入 89万円

町内会の住民間や行政・住民間の情報共有を可能とするモバイルアプリを導入。採用した町内会では、連絡・回覧・施設予約機能などを活用し、町内会機能の省力化や役員の負担軽減につながりました。

府中市の1年の軌跡

令和5年度決算から見る

問 財政課
☎ 44-9124

力強い産業が発展するまち

01

省エネ設備導入等支援事業 5,046万円

省エネ診断、省エネ設備の導入経費に対し補助金を交付し、企業の省エネ化を支援しました。電気料金などが高騰している中で市内の中小企業者などの省エネへの取り組みを後押しし、省エネ意識の醸成のほか、省エネ化、競争力強化、生産性向上などが図られ、事業活動の維持につながりました。



LED照明・空調などの省エネ設備導入！



市長もアスパラガスを植栽

農業振興ビジョンの実現に向けて 3,581万円

—多様な担い手確保・育成—

チャレンジファーム広島・上下農場第2期生の就農地のほ場の条件整備やハウス資材、農業用機械などの導入経費に対して補助金を交付し、今年4月の就農を支援しました。農業用資材費が高騰している中で、初期投資額の低減が図れ、新たな担い手確保につながりました。

02 ひと・つながりが育つまち

ALT全校配置 4,336万円

12人のALT（外国語指導助手）を府中市立学校全校に常時配置しました。児童生徒がALTと気軽に触れ合い、早い時期から生きた英語に慣れ親しむことができる環境を整えました。



こども医療費助成 9,107万円

令和5年度からの3年間で子育て施策を整理し、強化を図るため「府中市子育て支援パッケージ」として打ち出しを行い、こども医療費助成の対象となる年齢を18歳まで拡大して、所得制限も撤廃しました。

活気・賑わいを生むまち

03

i-coreFUCHUを活用した賑わいづくり 4,417万円

記憶に新しい今年7月のi-coreFUCHU新エリアオープン。令和5年度から工事に着手し、新たに整備したカフェ「So-netmo i-coreFUCHU」との具体的な運営内容の検討を進め、市内高校とのコラボレーション企画など、地域を巻き込んだ取り組みが実現しました。

